

## 移民が5割超の町



五十嵐朋子

ドイツ西部の町デーイツェン  
バッハは、移民大国ドイツの中  
でも移民の割合が最も高い町の  
一つだ。約3万5000人の住

民のうち、移民または移民の子が住民の5割を超える。

それだけ多くの外国人がいればドイツ人との間に  
あつれきが生じるかと思いきや、「ここでは反移民・  
難民のデモは見たことがないですよ」。デーイツェ  
ンバッハの難民支援団体で理事を務めるマルティ  
ン・スケラさんはそう話す。スケラさんたちはドイ  
ツ語のできない難民の行政手続きをサポートした  
り、語学教室を開いたりしている。

ドイツは戦後、1960年代にトルコから多くの  
労働者を受け入れ、2015年の欧州難民危機以降  
は難民に広く国境を開いた。だが近年、ドイツ国内  
の雰囲気は厳しい。昨年从今年にかけて中東出身  
の難民による無差別殺傷事件が相次ぎ、事件のあつ  
た都市では大規模な移民・難民に反対するデモが行  
われた。国民の3人に2人が難民の受け入れ減を望  
んでいるという世論調査もある。

だがデーイツェンバッハでは外国人が敵視される  
雰囲気はないという。スケラさんが考える理由は簡  
単だった。「さまざまな国から来た人がいて、お互  
いに慣れていくからです」。移民や難民に反対しよ  
うにも、住民の多くは自身が外国ルーツ。「それに  
スーパーや学校でいろいろな国の人と日常的に接し  
ます。全員がうまく溶け込んでいるわけではありま  
せんが、尊重されているのです」

ドイツでは移民外国人の人口分布に地域差があ  
り、東西統一前から外国人労働者が多く移住してき  
た旧西ドイツに多く、旧東ドイツには少ない。だが、  
「反移民・難民」主張の急先鋒である右派政党「ド  
イツのための選択肢（AfD）」は東独での支持率  
が高い。「逆転」している理由の一つは、外国人と  
接する機会が少ないために、かえって偏見が助長さ  
れているからだと指摘されている。

ドイツでは2月23日に連邦議会（下院）の総選挙  
がある。AfDが世論調査で第2位と支持を伸ば  
していることをスケラさんは危惧し、「人口の1%  
しか外国人がいなくても『多すぎる』と言う人はい  
る」と考えを巡らせる。スケラさんは、デーイツェン  
バッハの友好的な雰囲気が続くことを願っている。